

「2つの「人（ひと）」を考える」（頑張っています！城南中生！）

校長 赤木 完治

【「人」について考える（校長講話から）】

私は、様々な行事や集会、進路指導等の中で職員はもちろん、子どもたちや地域の方々にも、『「人」として如何に生きるか』について語っています。人権講演会・いじめ撲滅集会（各種活動）・生徒会活動・進路指導・赤ちゃん触れ合い授業・小学校との各種連携活動・職員会議や研修会、自治会や敬老会、各種協議会の席上等…。もちろん、私自身が十分ということではありません。でも、その活動の中で少しでも大切な子どもたちの意識や行動の高揚に寄与できればと思っております。先日の市研究委嘱「国語力向上」と県・市進路指導研究会委嘱「進路指導・キャリア教育」研究発表会（11月18日（金））の学校公開では、関係者や保護者の皆様に多数ご来校いただき、「落ち着いた」「一生懸命」「授業が充実している」等のお褒めの言葉をたくさんいただきました。この言葉は、本校職員の宝です。（ここで、講話の内容を一部掲載）

【校長講話「人（ひと）」からの抜粋】

「人（ひと）」という字には2つの意味があります。一つ目は、「自分自身を大切にするという意味の「人①」であり、もう一つは他人を思いやるという「人②」です。まず一つ目の人！人は最初は誰でも一人です。つまり「1」。人間がまっすぐ「気を付け」をして立っている形です。でも、まっすぐ立つのって疲れるし、不安定ですよ。しっかり、地面を踏みしめ安定して立つためには、大きく左右に両足を開いてしっかり立つことは必要です。そうですね。「1」が「人」になりました。つまり、まず自分自身を見つめ、何事にも頑張る気持ちが大切です。行動の基本は、この「一人でも頑張ろうとする気持ち」基本です。さあ、両足を広げて、しっかり大地を踏みしめてください。

さて、二つ目の「人」はどうでしょう。これもやはりスタートは「1」です。ここで足がしっかり広げられない時はどうなりますか？そうですね。倒れてしまいます。傾いてしまったときに、支えの棒が入るとどうなりますか？そう、やはり「人」という字になります。これが、二つ目の「人」、「思いやり」の心です。人は一人では生きていけません。まず、卒業の日まで、この2つの「人」を大切に、是非ここ城南中で頑張ってみてください。結果は、すぐには分かりません。でも、皆さんのこの2つの「人」こそが、この城南中をより一層すばらしい学校へと導いてくれるものと確信します。「本校228の城南桜」に期待しています！

【見事な走り。全員完走！特別支援学級】

先日11月25日（金）は、さいたま市特別支援学級のマラソン大会でした。本校からも5人の仲間が参加し、全員完走および上位入賞に感動いたしました。個人差こそあれ、皆さんの成長エネルギーは本当にすごい！感動をありがとう！

【日頃の見守り活動に心より感謝！！】

先日11月20日（日）の廃品回収に続き、11月27日（日）には「城南中地域避難訓練」が実施されました。熱心な地域の意識や取り組みは、本校の教育活動の基盤であり、感謝の念に耐えません。学校は、地域あってこそその施設です。今後も更なる「地域・保護者・学校の力」を結集し、本校教育活動の充実を図っていきたくと存じます。来年もよろしく！